

上越市創造行政研究所は、平成12年に設置された上越市役所の組織内シンクタンクです。当市のまちづくりを支援する調査研究機関として、人口データなどの分析や情報提供、フォーラムやワークショップの開催、調査研究による政策提言などを行っています。

## Topic 01

### 定住促進に向けたモデル地区での検討が進んでいます



令和5年度から、持続可能な地区別まちづくり支援事業（略して「地区まち」）を行っています。この事業は、地域住民と行政（総合事務所）の協働により定住促進策を検討・実践するモデル地区を設定し、当研究所からワークショップの運営補助や様々な情報提供を通じて支援するものです。

昨年度は、大島・浦川原・牧の3地区合同による勉強会や住民ワークショップ、発表会を行いました。今年度は、各地区で継続した検討や実践が進んでおり、当研究所は大島区の活動を中心に支援しています。

#### 大島区の取組



第2回プロジェクト会議での検討の様子

大島区では、令和5年度のワークショップメンバーを中心に「いいね！おしま☆むらづくりプロジェクト会議」（略して「むらプロ」）が立ち上がり、まずは定住促進に向けた情報発信策を中心に検討が行われています。

#### 今後の取組予定

このほか、東頸中学校区（大島、浦川原、安塚）の中学生が定住促進策を検討するワークショップや、地元大学生の協力による集落の魅力発見ワークショップなどを予定しています。



#### 牧区の取組



ナイトマルシェの開催風景

牧区では、令和5年度のワークショップメンバーを含む「まきにいる」が立ち上がり、棚田のライトアップイベントに合わせたナイトマルシェの開催を始め、提案内容の実現に向けた取組が始まりました。

## Information

### 令和6年度の主な事業は以下のとおりです

<情報編集(データバンク)> <input type="checkbox"/> 人口等のデータ分析 <input type="checkbox"/> 市内地区別の健康度分析	<研究交流(フォーラム)> <input type="checkbox"/> 持続可能な地区別まちづくり支援 <input type="checkbox"/> フォーラムの開催	<調査研究(リサーチ)> <input type="checkbox"/> 米関連産業の地域経済循環分析
--	--	---

各事業の進捗状況や成果などは、このニュースやホームページ、シンポジウム等を通じて随時ご紹介します。

## Topic 02

# 教育機関やまちづくり団体などへの話題提供を行っています



新潟県立看護大学「新潟学」における課題発表の様子

新潟県立看護大学では、1年生の教養科目である「新潟学」や「ふれあい実習」など地域について学ぶ授業があります。「新潟学」では、新潟ならではの特徴・魅力やその成り立ちに着目し、地域への愛着や誇り、アイデンティティなどに向き合う機会としています。「ふれあい実習」は、講義やフィールドワークを通じて地域での暮らしや看護の役割について考える授業です。当研究所では、これまで調査研究を行ってきた人口データや地域資源情報などを活用した講義を行っています。

このほか、教育機関やまちづくり団体等からの依頼を受けて、話題提供やコーディネート活動などを行っています。

## 話題提供・コーディネート活動の実績 (2024/4～9)

- |      |   |
|------|---|
| 6/ 4 | ★ 新潟県立看護大学「新潟学」第2回                          |
| 6/15 | ★ 名立区まちづくりフォーラム                             |
| 7/ 2 | ★ 新潟県立看護大学「新潟学」第6回                          |
| 7/ 2 | 高田北城高校探求学習                                  |
| 7/11 | 大島区むらプロ第1回                                  |
| 7/14 | ★ 市民団体勉強会                                   |
| 7/16 | ★ 新潟県立看護大学「新潟学」第7・8回                        |
| 7/22 | ★ 上越未来創造プロジェクトDAY1<br>(日本政策金融公庫・上越市産業政策課主催) |
| 8/ 5 | ★ 上越市議会議員研修会                                |
| 8/20 | ★ 新潟県立看護大学教員研修                              |
| 8/22 | 大島区むらプロ第2回                                  |
| 8/23 | 上越未来創造プロジェクトDAY2                            |
| 9/26 | ★ 新潟県立看護大学「ふれあい実習」                          |

★は講義・講演を実施

## Message

### 上越市創造行政研究所長からのご挨拶

令和5年4月から創造行政研究所の所長に就任した藤山です。全国の自治体と共同研究を展開している「持続可能な地域社会総合研究所（本部：島根県）」の所長も務めております。

上越市は、日本でもあまり類を見ない、山地から平野、海までの循環圏をそのまま自治体のエリアとしており、私はこのまちに大きな持続可能性を感じております。これからは循環型社会への進化が避けて通れない時代であり、地域と分野を横断した自治体ぐるみのトータルデザインが求められるものと思います。

具体的なデータに基づく地域診断、デジタル技術も応用した各種シミュレーション、そして住民を主人公とした話し合いと合意形成を研究所のスタッフと一緒に全力で応援していきます。

当研究所の広報誌としては、これまでニューズレター「創造行政」を発行してきましたが、今後は活動状況をタイムリーにお届けすることを重視し、「J・PRU News」として発行いたします。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



**Profile** 藤山 浩（ふじやま こう）：1959年島根県益田市生まれ。専門は中山間地域政策、未来社会論。博士（マネジメント）。島根県中山間地域研究センターなどを経て、2017年に持続可能な地域社会総合研究所を設立。国や地方自治体での委員・講師歴多数。著書に「田園回帰1%戦略」「日本はどこで間違えたのか」など多数。